

「地域見守りたい！」地・学連携による空き家活用プロジェクト (一般財団法人 島根県建築住宅センター)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・(地域)増加する空き家の利活用と地域活力の維持 ・(大学)低廉な学生の住まいの不足
目的	<p>地域と大学が連携した空き家活用手法としてシェアハウスを整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地・学が連携した継続的な空き家利活用体制の構築 ②若者(学生)向けの住まい提供策としての空き家利活用の確立 ③県大生による「地域見守りたい！」の実現
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市鳶巣地区の空き家をシェアハウスとして活用するための検討 ・新生「結(ゆい)」で支える空き家の改修・活用
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家利活用のケーススタディの実践 ・地域と大学が連携した空き家活用の取組手法の確立

持続可能な「地域主体による空き家活用」を目指した取組

①検討会の開催

事業の管理、調整を行うため、関係団体担当者による会議を定期的開催

②課題解決のための調査

アンケート調査や広島県への先進事例視察、鳶巣地区の空き家実態調査、地・学連携座談会などを実施

③空き家の改修・活用

残置物処分のための片付けワークショップや改修プランを検討するための設計ワークショップを実施

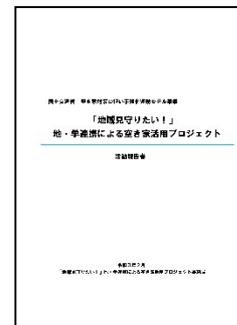
④住民報告会の開催

HPの作成やプロジェクト通信の発行、住民報告会の開催などによって、取組成果を広く周知



活動報告書

地域主体の空き家対策を県内各地等に周知するためのコンテンツとする。



地・学連携の取組を継続し、令和4年度のシェアハウス入居を目指します。